

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	清須市家庭教育支援チーム (呼称: チームMOMO)
②活動拠点	清須市立桃栄小学校
③活動範囲	清須市内全域
④組織体制	7人 子育てネットワーカー、民生児童委員、学校評議員 スポーツ推進員、保育サポーター、母子保健推進員
⑤活動開始年度	平成20年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等)愛知県清須市教育委員会教育部生涯学習課 高味 和代 (TEL)052-400-2911 (E-mail)shogaigakushu@city.kiyosu.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ MOMO の部屋 伝承あそび等を通して休み時間に児童と交流をする。保護者の相談を受ける場合もある。 ○ ふれあいサロン 懇談会の期間中、保護者と交流を図り、託児を行う。 ○ 「親の学び」家庭教育研修会 ワークショップを取り入れた研修会を行う。参加者同士が意見交換等をとおして、自分の子育てを振り返り、親としてのあり方や子供との接し方等について考える。 ○ 中学生と赤ちゃんのふれあい交流会 「いのちの大切さ」について、赤ちゃんやその保護者とふれあい交流する中で、体験を通して学ぶ機会を提供する。 ○ 孫育てから地域の子育て支援へ 祖父母世代だからこそできる子育て支援について、子育て中の親とのよりよい関わり方を考える。
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から多くの活動が中止となった。「中学生と赤ちゃんのふれあい交流会」もその一つであったが、他課の事業において「中学生と赤ちゃんのふれあい交流会」の目的や内容を今まで参加経験のない生徒たちに紹介する機会があり、事業紹介ではあったが「いのちの大切さ」を伝えることができた。</p> <p>今までおこなってきた「孫育てから地域の子育て支援へ」事業の一環として「祖父母世代の子育て・孫育て手帳」を現在作成中である。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:) <input checked="" type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()